

給食だより

平成29年1月6日
さいたま市立土屋中学校

あけましておめでとうございます。本年もどうぞよろしく願いいたします。

お正月に雑煮やお節は食べましたか？行事食には昔の人々の願いや思いが込められていますので、その願いを感じながら食べたいものです。

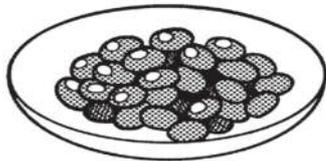
伝統的な行事食・お節料理

お節料理とは「御節供」が略されたもので、現在は、正月の節料理のことをいいます。もともとは正月や3月3日の桃の節句、5月5日の端午の節句など節目の日に神に供える料理のことを指しました。



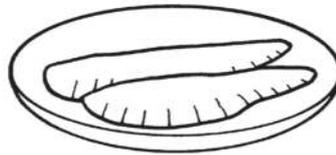
お節料理に込められた意味

黒豆



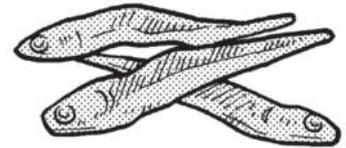
1年の邪気を祓い、まめ（勤勉で健康に）に暮らせますように。

数の子



（ニシンの卵の数が多いことから）子宝に恵まれますように。

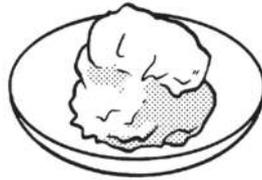
ごまめ



田作りとも言われるいわしいわしの稚魚を干したものの。豊作を願っています。

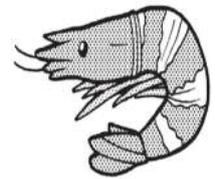
きんとん

「金団」と書き、もとは金色の団子を指します。商売繁盛と金運を呼ぶように。



えび 海老

海老のように腰が曲がるまで丈夫に長生きができますように。

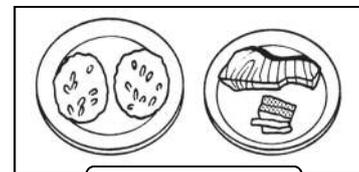


1月24～30日 全国学校給食週間

毎年1月24日から30日までの1週間は、「全国学校給食週間」と定められています。これを機会に、学校給食の歴史や献立などを振り返って、給食のすばらしさを再認識してみましょう。

給食献立 明治22年

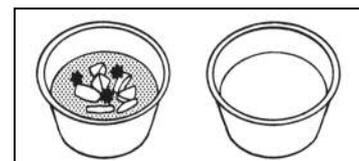
山形県鶴岡市の私立忠愛小学校で、貧困児童を対象に学校給食が実施されました。献立は「おにぎり、焼き魚、漬物」で、無料で実施されました。



給食の始まり

昭和21年 戦後初の学校給食再開

戦後の食料難の中、東京・神奈川・千葉県の学校で試験的に給食が開始。翌年、ララ寄贈食料品により全国都市の児童約300万人に学校給食が実施されました。



戦後初の学校給食再開

近年の給食

学校給食を食に関する指導の教材として用いることがすすめられ、地場産物の活用の促進が図られています。

また、それに合わせて各地の郷土料理や伝統料理が献立に積極的に導入されています。

